

## ポートモレスビー下水道整備事業

在ポートモレスビー 日本大使館

太平洋州諸国では、近代化とともに環境汚染が深刻化しています。ポートモレスビーでは、1970年代に当時の統治国であったオーストラリアによって内陸側に3つの下水処理場が整備されましたが、沿岸部では下水処理場が整備されていなかったため海水の水質汚濁が進み、住民や環境への影響が懸念されていました。

これに対して、日本政府は2009年5月に北海道占冠村トマムで開催された「第5回太平洋・島サミット（日本からは麻生太郎首相（当時）が出席）」で、環境・気候変動への適応を図るインフラ整備の一環として、ポートモレスビーの下水道施設の改修・整備を行う下水道整備事業（Port Moresby Sewerage System Upgrading Project）の実施を表明し、2010年1月よりJICAが本事業を開始しました。

ポートモレスビー下水道整備事業は、パプアニューギニアに対する10年振りの円借款案件です。ポートモレスビー沿岸部では、下水を海中へ放流し、水質汚濁、サンゴ礁等の海洋環境の破壊や地域住民の衛生環境への悪影響を及ぼしているため、下水処理場の建設を通じ、下水を適切に処理して沿岸の海への汚水流出の抑制を図るものです。2010年1月29日にL/Aが調印されました。このプロジェクトの実施機関はKumul Consolidated Holdings（KCH、前身は独立公共事業公社）、借款の上限額は約82億円（本邦技術活用条件案件）、PNG政府自己負担額は約60億円、総額見込みは約140億円で、事業内容は下水処理場建設に加え、幹線下水道13.6km、枝線下水道15.6km、ポンプ場新設4か所

等となっています。本年11月にパプアニューギニアで開催されるAPEC首脳会議までに下水処理場等の主要施設を完成させるべく、先方政府と一丸となり取り組んだ結果、主要施設は完成し、現在、試運転を行っています。施設完成25年後（人口約48万人に増加の見込）に予想される下水水量に対応できるように設計されており、日本では地方を中心に全国約2000か所の公共下水処理場の約半数で採用されているオキシデーションディッチ法（下水に酸素を供給し、微生物によって有機物の分解を行う生物処理法）という環境フレンドリーな技術を採用しています。なお、2017年4月から下水道設備管理能力向上のための技術支援も実施中です。

ポートモレスビー下水道整備事業により、水上生活者を含む人々の汚水による健康被害の減少や、水質改善による美しいサンゴ礁や海岸の維持、更には水産資源の回復等への大きな効果が期待されており、PNG政府から、日本・PNGの友好協力関係のシンボルとして、高く評価されています。



ポートモレスビーの下水道施設



完成予想図

# ポートモレスビーの独立記念日

伊藤 明德 (ポートモレスビー支部長)

9月16日はパプアニューギニア (PNG) の人々にとって特別な日です。PNG 関係者はご存じですよね。PNG の人々が喜び、家族でお祝いをする特別な日はクリスマスです。その次が9月16日の独立記念日です。

私にとっても PNG の人々と同様に楽しみにしている日となっています。毎年、私は独立の丘で開催される早朝の国旗掲揚独立記念式典に参加してシンシンで盛り上がるポートモレスビー市内やショッピングセンターを周りレストランで食事を楽しみ、そして夕方の国旗貢納式典で特別な日が終わります。

今年はヒリモアレ祭もありました。ポートモレスビーでは、7月から毎週末、PNG 大学の学生が準備する州のお祭り Provincial Day が独立記念日まで続きます。自分や家族、友人の出身州のお祭りに参加します。州の旗を持ち、州の T シャツや伝統衣装でお祝いし自分のアイデンティティーを確認し、ワントーク社会の結束を強くするのはです。

学校や職場でも独立記念日のお祝いがありクライマックスの独立記念日に向けて人々のワクワク感は盛り上がります。当日は、皆が PNG の国旗を持ち、

国旗色 (赤・黄色・黒) の T シャツや伝統衣装で家族や友人で楽しめます。

お祝いに沸く人々を見ていると「PNG をメチャ愛してるな。なんと素直に独立記念日をお祝いしてるんだな。」と私も嬉しくなります。この活気はきっとポートモレスビーが、2015年の South Pacific Game (南太平洋のオリンピック)、2016年女子20歳以下ワールドカップサッカー、2017年ワールドカップラグビーリーグ、そして今年が APEC 開催と大きな国際イベントの誘致に成功し、併せてビルや道路が拡張するなど、バブル期の日本の活気に似たものかもしれません。

人々の生活もそれに併せて豊かになっているかといったら微妙ですが、インフラ整備が進み新しいショッピングセンターも増えているので関連する雇用も増えていると思います。

美しい夕焼けのポートモレスビー、今年も独立記念日を楽しむ人々で溢れ、私も久しぶりの休日を楽しみ独立記念日は終了しました。また、来年はどんな独立記念日になるか楽しみです。



独立の丘式典



タウンのお祭り会場



ショッピングセンター内の  
伝統衣装コンテスト



お店のレジのお姉さん



お店のレジのお兄さん



ヒリモアレ祭り



日本料理店の店員さん



独立記念日国賓朝食会オニール夫妻と

中嶋 敏（在パプアニューギニア特命全権大使）

9月20日から22日にかけて、海上自衛隊の護衛艦「さざなみ」がポートモレスビーに寄港しました。「さざなみ」は2005年に就役して以来、海上自衛隊艦艇として初めて中国を親善訪問した他、ソマリア沖アデン湾での海賊対策活動に参加する等、世界各地で様々な任務に携わってきている護衛艦です。

海上自衛隊の艦艇がポートモレスビーに寄港したのは2014年9月の練習艦隊以来、4年振りでした。9月20日の入港歓迎式の際は、あいにくの雨模様でしたが、PNG政府及び国防軍関係者の他、在留邦人からも大きな歓迎を受けました。

寄港中、石川将司艦長を始めとする「さざなみ」乗組員は、ポートモレスビー市内の戦没者慰霊碑への献花、市内視察等を行った他、PNG国防軍幹部と交流を深めました。

20日夕には艦上レセプションが開催され、ダダエ総督、PNG建国の父ソマレ元首相を含む多くの方々の参加を頂きました。また、餅つきや鏡割りなども行われ、

日本的雰囲気の中で大変和やかなレセプションとなりました。中嶋駐パプアニューギニア大使は、「さざなみ」がポートモレスビー寄港前に豪海軍主催の多国間共同訓練「カカドゥ2018」に参加し、これから更にソロモン諸島に寄港することを踏まえ、今回の「さざなみ」の航海が日本とPNG及びその他諸国との信頼、友好の発展に資することを期待すると述べました。

20日朝の入港歓迎式と同日夕の艦上レセプションでは、日本政府が訓練を支援しているPNG軍楽隊が両国歌を始めとする素晴らしい演奏を披露し、日本の地道な協力が実を結んでいることが実感されました。

また、当地各紙、テレビ局は、「さざなみ」の寄港を大きく取り上げ、日本・PNGの友好親善の雰囲気が大きく盛り上がりました。更に大洋州地域においても海洋の安全保障が重要性を増しており、今回の「さざなみ」の当地域への訪問は、こうした課題に対する日本の貢献ともなりました。



荻原 聖子（パプアニューギニア大使館 大使秘書）

この度、パプアニューギニアを舞台にした映画の作品が10月下旬に名古屋大学にて紹介されました。

日本初上陸となる映画「Aliko and Ambai（アリコとアンバイ）」は、パプアニューギニアを舞台にした作品です。Aliko（アリコ）とAmbai（アンバイ）という二人の若い女性が様々な困難を乗り越えながら夢を追い求めていく人生を描くストーリーで、パプアニューギニアの社会、伝統、文化をとっても美しく描きつつ、またパプアニューギニアに根付くジェンダー問題に焦点を当てており、示唆に富んだ大変優れた作品で



す。この映画は、パプアニューギニアのゴロカ大学にあるCenter for Social and Creative Mediaのプロジェクトチームによって制作されました。

本作品の日本初上映会が、10月26日（金）・27日（土）に名古屋大学内にて開催されました。（2018年度名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリジェンダー研究集会開催助成）。

上映後は、本作品のMark Eby監督と共同制作者であるDiane Anton氏によるQ&Aセッションが行われました。会場では約60人の観客の方がパプアニューギニアの映画を堪能されました。

（名古屋大学特任助教授 高橋麻奈様よりご紹介）

今回は、トライアルで2日間だけの上映でしたが、今後の評判により、東京でも上映されるチャンスもあるかもしれませんので、その場合はまた追ってご紹介いたします。

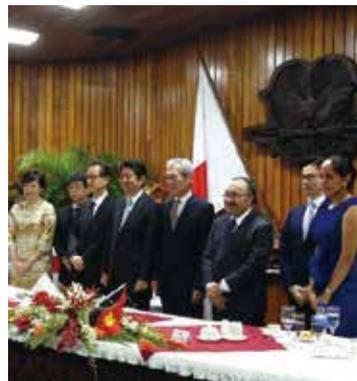
皆さまこんにちは。私共エルエヌジーは住友商事株式会社と双日株式会社の折半出資にて運営される LNG（液化天然ガス）関連ビジネスを主力とした商社です。実はごくらくちょう 20 号への掲載以来 10 年ぶりの登場となります。当時はまだ LNG も今ほど一般的な用語ではなかったように思いますが、今日では LNG は PNG の発展を支える重要産業の柱となり、本誌や本協会総会などでも必ず言及される、関係者で知らない方はいらっしゃる存在となりました。2017 年の対日輸出量は 423 万トンと日本の全輸入量の 5% を占め、日本にとっても電力ガスインフラの大きな支えとなっております。

LNG プロジェクトは構想から実現まで時に 30 年程度要することも珍しくないロングランの世界。当社も PNG でこの 10 年間活動を継続し、2014 年には安倍首相の PNG 訪問ミッションへの随行や、2017 年には国営石油会社である Kumul Petroleum 社との業務提携などの実績を積み上げてまいりましたが、未だプロジェクトへの参入には至っておりません。とはいえ PNG では現在、2015 年に最初の LNG プロジェクトが運転開始して以来、新たなプロジェクトを立ち上げようと PNG 政府を始めとした関係者間で協議が進行中のようです。当社としても何らかの形で PNG での LNG プロジェクトへのサポー

トを行い、PNG の発展に少しでも寄与したいと考えております。

特に今年は初の APEC ホスト国イヤーということでインフラ関連開発も盛んにおこなわれておりますが、一方で年々中国企業の存在感が増していることもまた現実です。私共は 10 年余りと PNG とのかかわりにおいては新参者ではございますが、これまで諸先輩方が多大なる努力とご苦労の上、PNG との絆を深めてきたことは重々認識しているつもりです。本命の資源開発プロジェクトにおいては日本の存在感を見せつけたいとの思いで、今後日々精進してまいります。

なお私共は本年 2 月、創業以来の六本木を離れ、赤坂地域に本社を移転いたしました。お近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。



2014 年安倍首相ミッションで



2018 年 3 月 POM で開催された  
カンファレンスで

## 事務局からのお知らせ

開催が遅れておりました「TOKTOK 会」ですが、現在のところ次を予定しております。11 月 28 日（水）嶋野 進氏（前在 PNG 日本国大使館 戦後処理及び広報文化ご担当）によるお話。3 月初旬に加原 菜穂子先生の「PNG を題材にした文化人類学」のお話を予定し

ております。このごくらくちょうがお手元に参ります頃には、嶋野氏ご講演の詳細をご案内できると思います。ご期待ください。また TOKTOK 会では、皆さまからの講義内容のご要望もお聞きしております。ご要望などございましたら、事務局までお願いいたします。PNG では APEC に向けて期待と混迷が進んでいるようです。11 月 15 日、16 日

は祝日になるとか、飛行機の駐機場が足りないとか、期間中のホテルが暴騰しているとか、国内線が運休になるなど、いろいろな「噂」が入ります。APEC が無事に終わり、PNG の信頼と世界的な地位が向上することを望んでおります。次号またはメルマガでは結果をご案内できるものと思います。日に日に寒さがまして参りますが、くれぐれもお体ご自愛くださいませ。

## 日本・パプアニューギニア協会 会員募集

本協会は、日本とパプアニューギニアが友好関係を促進し相互理解を深めることを目的とし、文化、芸術、スポーツ、観光等様々な活動を行っております。どうぞ本協会の活動をご理解下さり、ご協力の程をお願い申し上げます。

会員数 ◆ 法人会員：30 社 ◆ 個人会員：152 名（2018 年 10 月 25 日現在）

お問い合わせ先 日本・パプアニューギニア協会 事務局 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 3-2-12 社会保険労務士会館 9 階 日本ビジネスライン 社内  
TEL: 03-5216-3555 FAX: 03-5216-3556 E-mail: info@jpng.or.jp URL: http://www.jpng.or.jp/

本協会では随時会員を募集しております。お知り合いの方にぜひお声をかけて下さい。

申し込み方法 郵便局の振込取扱票にてお申し込みください。

年会費 個人会員 5,000 円 法人会員 50,000 円 学生 1,000 円 PNG 人 1,000 円

会費受付 郵便振替口座をご利用ください。

口座番号 00140-2-277582

加入者名 トクヒ ニホン パプアニューギニアキョウカイ